

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 2 6 年度）

1. 機 関 番 号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成 2 6 年度 ~ 平成 2 8 年度
5. 課 題 番 号

2	6	7	3	0	1	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 動的に文脈適応する語彙表現の学習

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研 究 代 表 者 名	所 属 部 局 名	職 名
8 0 6 3 7 3 2 2	ドゥ ケビン D u h K e v i n	情報科学研究科	助教

8. 研究分担者

研 究 者 番 号	研 究 分 担 者 名	所 属 研 究 機 関 名 ・ 部 局 名	職 名

9. 研究実績の概要

深層学習による語彙表現の手法を考案した。本年度の具体的な成果は、次の 2 点である。

- 1) 文脈に適応する動的な語彙表現を提案し、ニューラルネットワークに基づく構文解析システムに取り込んだ。
- 2) 多目的最適化法 (ADMM) を利用し、よりフレキシブルな語彙表現の学習手法を提案した。様々な文脈情報や外部知識を考慮するために、新しい目的関数の追加により簡単に実験を行うことができるようになった。

10. キーワード

(1) 自然言語処理

(2) 機械学種

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

計画通り新しい手法を提案し、自然言語処理のタスクで評価を行った。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

今後は計画通り、実装を並列化することによって高速化し、様々な手法を比べる。最終的に精度を上げるように研究を行う。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

(使用計画)

13.研究発表(平成26年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著 者 名	論 文 標 題			
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)				

(学会発表) 計(1)件 うち招待講演 計(0)件

発 表 者 名	発 表 標 題 【発表確定】	
Daniel Fried, Kevin Duh	Incorporating Both Distributional and Relational Semantics in Word Representations	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
International Conference on Learning Representations (2015)	2015年05月07日～2015年05月09日	San Diego, USA

(図書) 計(0)件

著 者 名	出 版 社	
書 名	発行年	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考